

製品名: c-Jun ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21376**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:36kD;Observed MW:43kD

抗原情報

遺伝子名	JUN
別名	Transcription factor AP-1 (Activator protein 1;AP1;Proto-oncogene c-Jun;V-jun avian sarcoma virus 17 oncogene homolog;p39)
遺伝子 ID	3725.0
SwissProt ID	P05412
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

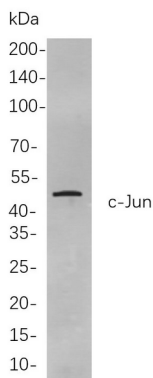
背景

細胞局在: 核。機能: エンハンサーヘプタマーモチーフ 5'-TGA[CG]TCA-3'を認識し、結合する転写因子。、PTM: リン酸化により転写活性が促進される。PRKDC によってリン酸化される。、類似性: bZIP ファミリーに属する。、類似性: bZIP ファミリーの Jun サブファミリーに属する。、類似性: 1つの bZIP ドメインを含む。、サブユニット: FOS または BATF3 のいずれかとヘテロ二量体を形成する。HIVEP3 と相互作用する (類似性による)。SMAD3/SMAD4 ヘテロ二量体と相互作用する。MYBBP1A、SPIB、TCF20 と相互作用する。COPS5 と相互作用し、間接的にリン酸化を引き起こす。DSIPI と相互作用し、この相互作用により活性型 AP1 と標的 DNA の結合が阻害される。、

研究分野

-

画像データ



PC-12 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (c-Jun ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。